

熱中症に注意しましょう。

梅雨が明け、本格的な夏が到来しました。今年は、気温の高い状態にあり、今後もその状態が続くと予想されています。

熱中症は、炎天下の屋外のほか、高温多湿の屋内でも多量の汗をかいて水分や塩分が過度に失われることで起こります。

頭痛・吐き気・めまい・けいれん等を引き起こし、ひどい場合は、意識をなくし、死亡する危険性があります。

熱中症の予防として、屋内では、食事と睡眠をしっかりとる。エアコンを上手に使う。こまめに水分を補給することです。屋外では、暑い日や暑くなる時間帯を避け、早めに水分と塩分を補給する。日傘やつばの広い帽子を使用することです。熱中症の危険サイン（頭痛・吐き気・めまい・けいれん）が起きたら、風通しの良い涼しい場所に避難し、服装を緩めて体を冷やしましょう。

アルコール検知器によるチェックの義務化

安全運転管理者（東松山市シルバー人材センターは山田事務局長）を有する白ナンバーの事業所は、昨年（2022年）4月より酒気帯びの有無の確認（目視）及び記録の保存（1年間）が義務化されました。

本年（2023年）12月からは、アルコール検知器によるチェックが義務化されます。

今後、シルバー人材センターの車にも、各車に1台アルコール検知器を常備してまいります。シルバー人材センターの車を利用される方はもちろん、会員の皆様におかれましても、飲酒運転の危険性を熟知していただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

フレイル予防教室（開催中）

第二・第四月曜日

8月7日（済）と8月28日

午前10時から12時まで

体力・栄養・社会参加の実践

詳細は事務局（Tel22-2245）まで

安全運転管理者協会の総会

7月14日（金）市民文化センターで開催され、安全運転管理者である当センターの事務局長が同時に実施された講習と併せて参加いたしました。

今後も安全運転を続けましょう。

7月の事故報告

報告された事故はありません。

過酷な気象状況にもかかわらず、皆さんが十分注意してお仕事をさせていただいた結果です。ありがとうございました。

なお、熱中症になった方が複数発生しています。注意してください。